



# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	総務部 秘書広報課		No.	1
事業名	秘書事務事業			
総合計画の 体系	基本目標	5	持続可能な地域経営	
	基本政策	-		
目的	町長及び副町長のスケジュール管理 町長交際費の適切な執行			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町長・副町長の日程調整及び管理事務</li> <li>・交際費及び慶弔事務</li> <li>・町長公文書・資料管理及び情報収集</li> <li>・来客・来賓応接</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶・礼状の作成</li> <li>・町長の資産公開事務</li> <li>・県郡町村会</li> </ul>	
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町長への各種行事の出席依頼や、面会の依頼が多数寄せられる。庁舎内用務と、案内行事等への出席の調整に苦慮することがある。</li> <li>・町長交際費について、適正な執行に努める。 小学生や中学生の大会出場などによる町長への表敬訪問の際、昨年度から激励・お祝い等については、現金に変えて図書券で対応するようにした。 出場大会の規模や内容、年齢、また、グループ制のスポーツなどによっては、訪問者数が多数の場合があったりと、それぞれ状況が異なるため、適正な対応（基準）を検討する。</li> </ul>			
平成 29 年度 の目標又は 改善策	<p>町長への出席等依頼については、町長に出席をしていただくもの、町長以外の者でお願いができるものとの検討し、適切な対応とスケジュール管理に努める。毎年依頼される案件についても、その都度、対応を検討する。</p> <p>交際費については、対象となる事業内容を十分精査し、過大な対応とならないよう努める。</p>			

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月末 翌月の町長スケジュール確認、公用車の予約手配</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 15日前後 翌月の町長交際費の支出予定の確認及び伝票処理</li> <li>・ 月始め 前月の町長交際費の支出内容・支出額の確認及び伝票処理</li> <li>○ 随時 町長スケジュール調整・交際費対応</li> </ul>

## □3年間の目標

項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>					

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H29 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
H30 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	1,753	1,655	1,655
（内特定財源）		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.7
	臨時職員	人工		0	0
	計	人工	0.0	0.8	0.7

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

--

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

### 【町長のスケジュール管理】

町長への会議・各種事業等への出席のご案内については、開催内容やこれまでの対応の確認、そして町長のご意向を伺うとともに、当日のスケジュールとの調整などを含め対応をすすめた。

町長に出席していただく際には終了時刻を確認するようにし、日々のスケジュール管理に努めるとともに、乗務員さんにも時間については出来る限り情報を提供し、な対応をしていただけるよう心掛けた。

### 【町長交際費の執行】

交際費の基準表に基づき適正な対応に努める。

基準表の対象となっていないケースであっても、相応と思われる場合が生じた際は、町長のご意向や、これまでの対応を踏まえ執行を検討する。

## ■ 評価

### 【町長のスケジュール管理】

常に、3カ月から4カ月先のスケジュール表を町長にお渡しすることで、会議等、各種ご案内についての調整を、町長と状況を共有しながら進めることができた。

乗務員さんとは出来る限り情報を共有し、密に連絡を取り合うことで適切に対応していただくことができた。

### 【町長交際費の執行】

交際費の中で弔慰関係については状況が多様となってきているので、ご遺族のお気持ちに十分配慮し執行する。

その他については、交際費執行基準に基づき適切な対応ができた。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	秘書広報課	No.	2
事業名	広報・広聴事業		
総合計画の 体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本政策	3-1	広報・広聴
目的	町の行政施策や行事、行政サービスなどの情報を、分かりやすい内容で住民の方々に届けるとともに、「元気なまちおおぐち」を積極的に情報発信する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報おおぐち編集及び発行</li> <li>・ まちのカレンダー編集及び発行</li> <li>・ 町ホームページ管理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Cyber Community おおぐち運営管理</li> <li>・ 地域 ICT 利活用広域連携事業（ヒューマンリンクシステム）</li> </ul>
現在における経過又は課題	<p>広報おおぐち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民に興味を持って読んでもらえるよう特集を毎月実施した。</li> <li>・ より読みやすい広報を目指し、一部レイアウト等を広報編集委員、協働委託者と協議し変更した。</li> </ul> <p>動画配信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年に引き続き「憩いの四季」との協働事業により動画、写真の配信を行った。「まちの話題」としてショートムービーを youtube へアップロードしていただいている。</li> </ul> <p>くらしのガイドブック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業者と官民共同事業として発行した「くらしのガイドブック」は、発行した平成 27 年 6 月から 2 年近くが過ぎようとしている。</li> </ul>		
平成 29 年度の目標又は改善策	<p>広報おおぐち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ より充実した紙面になるよう、住民に PR したい施策等を広報編集委員、協働委託者と協議し特集を実施する。また、住民への PR となるよう表紙のテーマについて広報編集委員、協働委託者と検討する。</li> </ul> <p>くらしのガイドブック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報の更新も含め、平成 30 年度の発行を目指し業者と協議・制作を進めていく。</li> </ul>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4 ～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報おおぐち 毎月：編集、校正</li> <li>・ 広報編集委員との打合せ：随時</li> <li>・ 町ホームページ管理運営：随時</li> <li>・ 「くらしの便利帳」発行に向けた打合せ</li> <li>・ 動画配信：随時</li> <li>・ 動画配信に関する委託業者との打合せ：随時</li> </ul>
4 月	記録収集及び配信イベントを憩いの四季と計画
3 月	次年度に向け各部局から情報収集

## □3 年間の目標

目 標	・					
項 目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・
H31 年度	・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	13,035	13,442	12,495
（内特定財源）		千円	592	622	617
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.7
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.6	0.6	0.7

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
ホームページバナー広告料収入	193	
ふるさと基金繰入金	424	動画配信事業協働委託料
合計	617	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
使用料 ホームページシステム 2-1-2(8)14-1-3	1,061	-312	5年間の継続契約が終了し、本年度の契約では使用料月額単価が安価となったため。

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- 広報おおぐち
  - ・より充実した紙面になるように、住民が興味をもてる内容や、アピールしたいことを特集で紹介した。また、読みやすいように、同種類の記事を同じ紙面に配置した。
- 暮らしのガイドブック
  - ・業者や各課と連携し、誌面情報や写真を最新のものに更新した。

## ■評価

- 広報おおぐち
  - ・住民に伝わりやすく、読みやすい誌面にするため、原稿配置に気を配り、特集では興味をもっていただけるような内容、行政として知ってもらいたいことを掲載した。
- 暮らしのガイドブック
  - ・住民が手続き等で困ったときに使ってもらえるよう、掲載情報更新し、町の歴史や行事に親しみをもていただけるように写真の更新や追加をした。



# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	総務部 秘書広報課	No.	3
事業名	松江市姉妹都市提携事業		
総合計画の 体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本政策	-	
目的	平成 27 年 8 月 29 日に姉妹都市提携した島根県松江市との交流を図るため、各種イベントへの参加を始め、歴史・文化・まちづくりなどと通じた様々な事業の実施を図り、行政間及び両市町住民間の継続した交流を図る。		
事務内容	・ 交流関係部所との連絡調整		
現在における経過又は課題	<p>平成 27 年 8 月 29 日、島根県松江市と姉妹都市提携の盟約を交わした。これまでは民間レベルでの交流が主であったが、今後、町全体としての交流を活発にしていきたいため、行政間における情報交換や施策内容の検討、民間交流のさらなる促進を図る。</p> <p>また、平成 29 年 1 月 17 日、堀尾吉晴公の足跡を調査・研究を行うため、松江市・島根県安来市・大口市の間で共同研究会が立ち上げられ、各種文献や資料を精査し平成 32 年度を目標に報告書がまとめられることとなった。</p> <p>共同研究をPRし、郷土の英傑「堀尾吉晴公」に広く関心を持ってもらえるよう情報の収集と発信に努める。</p>		
平成 29 年度の目標又は改善策	<p>松江市との交流の活発化と、それにあわせて、松江市との交流の原点になっている堀尾家の顕彰を町内全域へ広げていく。</p> <p>両市町の市民・町民・職員が積極的に情報を交わし、幅広い分野で交流を深めるとともに、堀尾氏とゆかりのある市町とも様々な面での交流や連携を強めていく方策を探る。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	・金助桜まつりと松江市武者行列における交流
6	・堀尾吉晴公 共同研究会 出席
7	・松江市での共創・協働のマーケットへの参加交流
8	・松江だんだん夏踊りへの参加交流 ・スポーツ（サッカー）を通じた子どもの交流事業
9	・やろ舞い大祭における交流 ・松江市での職員研修（～10月末まで） ・松江水燈路への行灯作品での参加交流 ・堀尾吉晴公ゆかりの地を視察
11	・ふれあいまつりににおける交流
1	・松江市 食まつり視察
2	・堀尾吉晴公 共同研究会 出席
4 ～ 3	○ その他 両市町 各種イベント等への参加交流 まちねっと大口との協働による交流事業及び、情報発信 民間レベルでの交流の援助
	○ 今後の交流内容の検討

## □3年間の目標

目標							
	項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H29 年度	・ ・
H30 年度	・ ・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	3,162	4,300	6,000
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員		0.7	0.7	0.6
	臨時職員				0
	計		0.7	0.7	0.6

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

--

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

平成29年4月に松江市にて開催された「武者行列」には、本町で活動されている地域自治組織の皆さんに参加いただくことができ、祭りを通じた住民間での交流を図ることができた。

昨年設立された「堀尾吉晴共同研究会」については、吉晴公に関係の深い浜松城や滋賀県の佐和山城址や京都を松江市・安来市の職員とともに視察し歴史を検証した他、松江市・大口町において、それぞれ研究会を開催。これまでの調査の報告とともに、今後の研究の進め方について話し合いをした。

また、平成30年2月には、全国の都道府県、市町村、博物館(博物館協会に所属する)、図書館や大学など、およそ5,700箇所に関尾氏に関する資料の所在についてのアンケート調査を実施した。

この他、平成29年度は両市町の子どもたちの交流を図るとして、松江市で開催されたサッカー大会に大口町のチームが参加し、子どもたち・指導者同士の親睦を深めた。さらに、堀尾吉晴公が築城した松江城やその城下を巡るなど名所を見学し、歴史を探求する中で多くの現地の方々とふれあうことができた。

### <平成29年度主な交流事業>

#### (1) 踊り・イベントなどを通じた交流

～松江：武者行列・だんだん夏踊り 大口：やろ舞い大祭・ふれあいまつり～

松江開府の祖、堀尾吉晴公とその一行が松江城に入城する様子を再現した『松江武者行列』に地域自治の皆さんが参加した他、『松江だんだん夏踊り』に、本町から2名が参加。

9月に本町で開催の『やろ舞い大祭』には、松江市から踊り2チームの参加があった他、10月に開催の『ふれあいまつり』には、松江市の特産品の出展を始め、観光PRに参加いただいた。

#### (2) 人事交流事業

平成29年9月中旬から10月までの1ヶ月間半、政策推進課職員1名を松江市へ派遣した。

職員は地域振興課と観光文化課に配属され、ふるさと納税の事務処理の他、観光事業の運営などに携わり、異なる環境のなかでの実務を遂行することで新たな発想や取り組みを考える機会が得られたとともに、職場や地域の方々と親睦を深めることができ、有意義な経験となった。

#### (3) 堀尾吉晴共同研究会の開催

・平成29年3月・平成30年2月の2回 松江市にて開催

・平成29年9月 堀尾氏ゆかりの地を松江市・安来市の職員とともに視察

## ■ 評価

イベント等に参加していただくことで、町民のみなさんに松江市との姉妹都市提携の周知と、両市町の住民及び行政間の情報共有と交流を図ることができた。

堀尾吉晴共同研究会では、全国に向けアンケート調査を実施したほか、会議においては、松江市・安来市職員に加え、浜松市の職員がオブザーバーとして参加いただくことができ、今後の取り組みについて広く検討することができた。